

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県君津中央病院企業団 君津中央病院大佐和分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドクターチーフ	救護輪
人口（人）	建物面積（m <sup>2</sup> ）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	2,116	第2種該当	-	10 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…べき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】令和5年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・運営強化 (医療の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

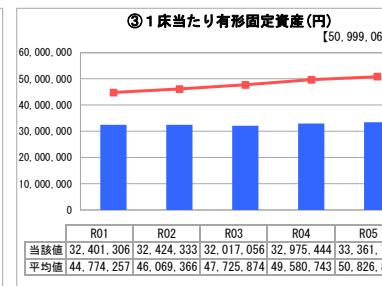
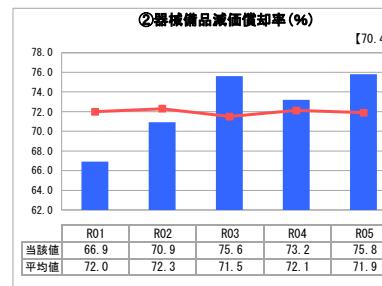
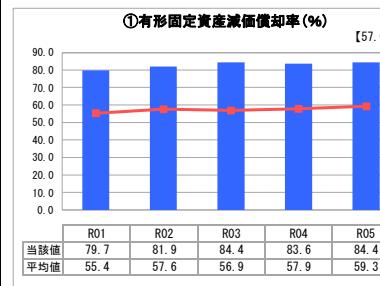
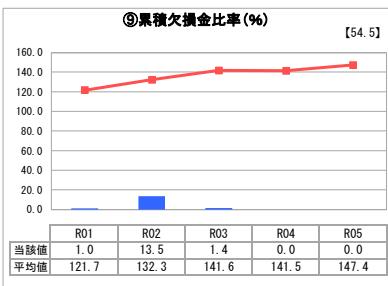
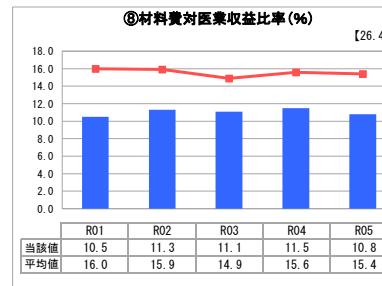
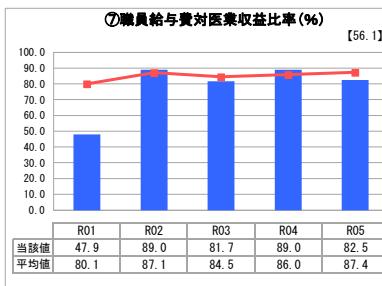
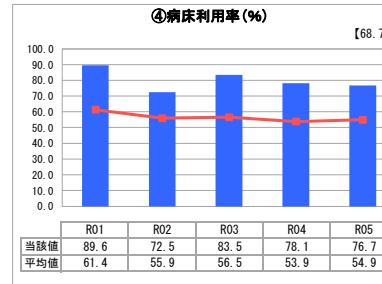
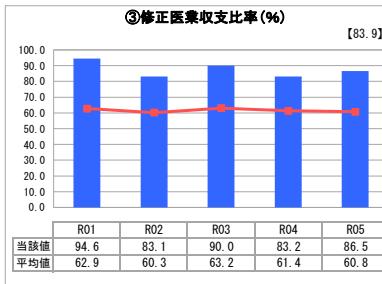
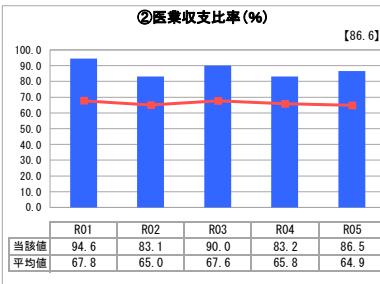
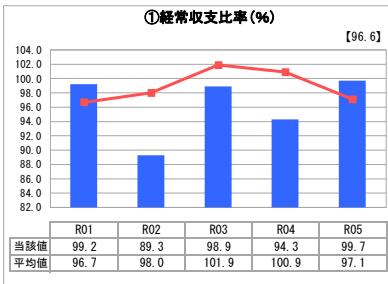
## I 地域において担っている役割

地域住民に密着した質の高い医療サービスを提供するとともに、本院と連携し、医療圏で不足している二次救急医療の需要に対応することで、地域に必要とされる医療機関としての役割を果たす。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生による患者数の減により、病床利用率は前年度比1.4ポイント低下したものの、入院患者1人1日当たり収益の上昇及び外来患者数の増による収益増があり、医業収支比率は3.3ポイント改善した。これに構成市負担金等を含めた経常収支比率は、100%には届かなかったが99.7%となった。



## 全体総括

引き続き、地域において担うべき医療提供体制を維持するため、経営の健全化・効率化に努める。

老朽化への対応については、「大佐和分院施設整備基本構想・基本計画（平成28年度策定）」を基にした建替え計画の再開に向け、令和5年度から企業団内において検討を開始した。また、令和6年度からは構成市との協議の場を設け、既存の計画の見直しについて説明を行うなど、建替え計画再開に向けた取組を進めている。